

那須平成の森だより

自分だけの自然に出会う

第6回 「那須平成の森の冬 スノーシューで楽しもう！」

今回は、積雪期に大活躍するスノーシューを使ったガイドウォークなどを紹介します。

スノーシューとは、「西洋かんじき」とも呼ばれる雪上を歩くための道具です。那須平成の森でスノーシューガイドウォークができるほど雪が積もるのは、1月中旬頃から、歩ける場所は私たちが「ふれあいの森」と呼んでいる一般開放エリアです。

「自由散策」

「ふれあいの森」は、どなたでも自由に歩けます。お子様連れの方は、安心してソリ遊びや雪だるま作りなどを楽しめます。



スノーシューをはいて森の奥へと進みます

「ガイドウォーク」
現在は、週末を中心に2時間

コースと3時間コースを用意しています。森の奥まで踏み入り、インタープリターと一緒に雪面に残されたホンドキツネやニホンウサギの足跡をたどったり、さまざまな表情をした冬芽を探したりするなど、冬のいきものたちの暮らしを観察します。



雪が降るとあちこちで見かけるニホンウサギの足跡

「特別ガイドウォーク」

「ナイトハイキング」

冬季限定、夜の森を歩く非日常のプログラムです。雪に覆われた夜の森は日中と全く違った表情を見せてくれます。満月の夜なら、月明りに照らされた樹木たちのシルエット、新月の夜なら、木の間越しに瞬く星々のきらめき、他にも魅力はいっぱいあります。1月から3月にかけて

数回実施します。

那須町は、標高差も含め広いですね。読者の皆さんの中には、厳冬期、雪のある那須岳の麓に來られたことがない方もいらっしゃるでしょう。今回の那須平成の森だよりを読んで皆さんが思うのは、「やっぱり無理！」か、「よし、行ってみよう！」か。さあ、あなたはどちらですか？

那須平成の森フィールドセンター
センター長 若林正浩



夜のスノーシュープログラム、満月の森で過ごす

かつこう

「広報那須」のコーナーのひとつで、平成31年1月号からスタートした「ホッとひと息 おいしい那須めぐり」は、「那須のおいしいものを、作る人の思いも一緒に紹介する」をテーマに全23回連載し、今月号で最終回となりました。

連載した2年間で1度だけ掲載を見送ったのは今年の6月

号。取材を行う5月上旬は、国の緊急事態宣言下で営業自粛などが要請されていました。令和3年1月号からは、新コーナー「那須のおいしい麺めぐり」をスタートします。ラーメン、うどん、そば、パスタ店をめぐり、店のイチ押しメニューを紹介します。

昨年1月から始まった表紙シリーズ「はぐくむ喜び〜農業の魅力〜」が終わりを迎えました。取材をする中で、農業に携わる方々の努力があるからこそ、町にはおいしいお米や野菜、肉、乳製品、美しい花があることに改めて気づき、その奮励に敬服いたしました。取材にご協力くださった農家の皆さん、関心を持ち表紙の話を読んでくださった皆さん、本当にありがとうございました。

こんにちは

赤ちゃん



令和2年4月2日生

室越 柚舞ちゃん (本郷)

父 渉さん
母 宏美さん

柚舞ちゃんへ…

お姉ちゃんと一緒にスクスク大きくな〜れ☆



「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(11月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,410世帯 (+6)
・人口 24,784人 (-22)
男 12,333人(-10) 女 12,451人(-12)

あなたの「声」をきかせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。